

**多要素認証基盤 EVE MA
SKYDIV Desktop Clientにおける
多要素認証の利用**

目次

1. 多要素認証を利用したSKYDIV Desktop Clientへのログイン	2
2. SKYDIV Desktop Clientについて	2
3. EVE MAとSKYDIV Desktop Clientの連携（登録）	2
4. EVE MAとSKYDIV Desktop Clientの連携（利用）	4

1. 多要素認証を利用したSKYDIV Desktop Clientへのログイン

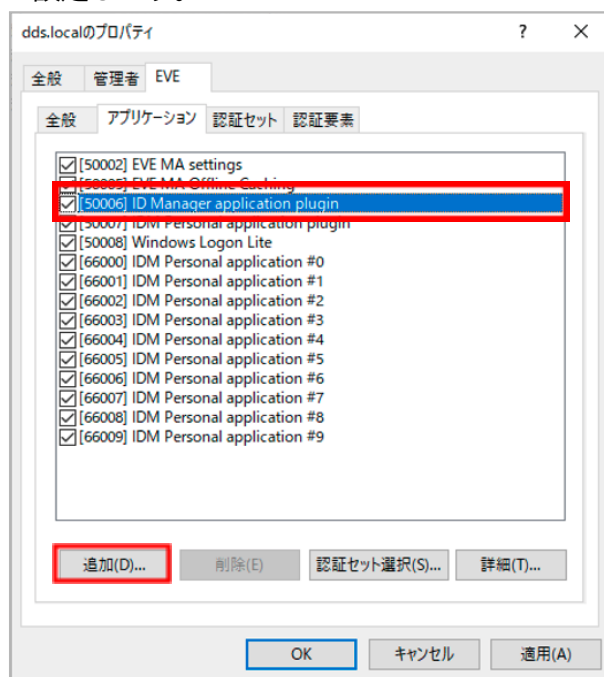
テレワークやネットワーク分離環境などで安全かつ便利に業務を行っていただけるよう、仮想化環境（シンクライアント）の運用・管理をサポートする「SKYDIV Desktop Client」と、多要素認証による厳格な本人確認を行う「多要素認証基盤 EVE MA」を連携することで、SKYDIV Desktop Clientへのログイン、SKYDIV Desktop Client内（仮想化環境内）で利用するアプリケーションに対して生体認証（指紋、顔、静脈）や所持認証（ICカード、ワンタイムパスワード）が可能となります。これにより、安全かつ便利に業務を行うことができるようになります。

2. SKYDIV Desktop Clientについて

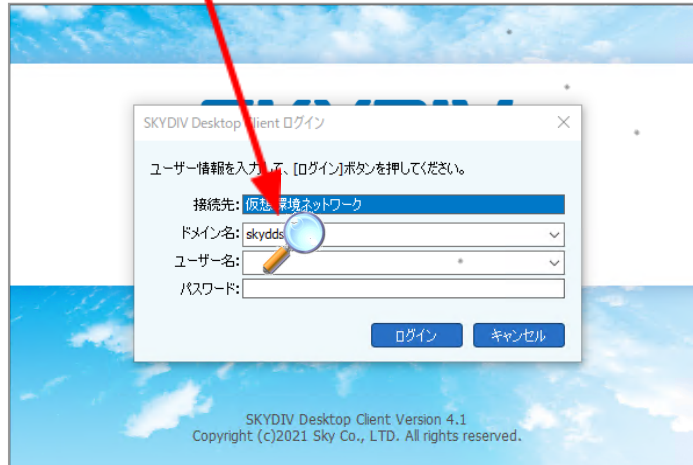
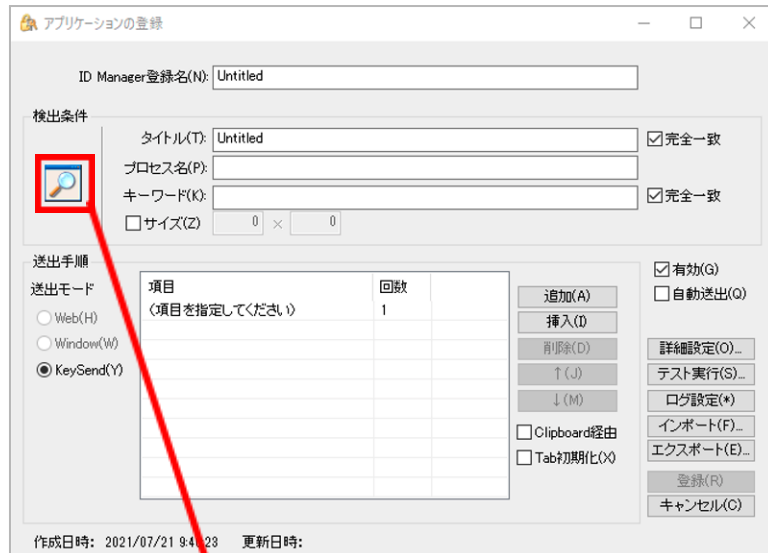
Sky株式会社の「SKYDIV Desktop Client（スカイディブ デスクトップ クライアント）」は、テレワークやネットワーク分離環境などで安全かつ便利に業務を行っていただけるよう仮想環境（シンクライアント）の運用・管理をサポートする大規模ユーザー向けシンクライアントシステムです。

3. EVE MAとSKYDIV Desktop Clientの連携（登録）

- (1) EVE MA ID マネージャー（アプリケーション認証ソフト）への登録
 - a EVE MA 管理ツールにログインしてドメインのプロパティを開き、[EVE] - [アプリケーション]を表示します。
 - b [[50006] ID Manager application plugin] を選択して [追加] ボタンをクリックし、表示された[ID Manager アプリケーションの追加] 画面で名称等を設定します。



- c 追加したアプリケーションを選択し、[編集] ボタンをクリックし、[アプリケーションの登録] 画面を表示します。
- d 対象アプリケーションのID/パスワードを入力するログイン画面 ([SKYDIV Desktop Client ログイン] 画面) にアクセスします。
- e EVE MA の [アプリケーションの登録] 画面で虫めがねアイコンをログイン画面にドラッグ・アンド・ドロップし、画面情報を取得後、ログインに必要な情報を設定して [登録(R)] をクリックします。

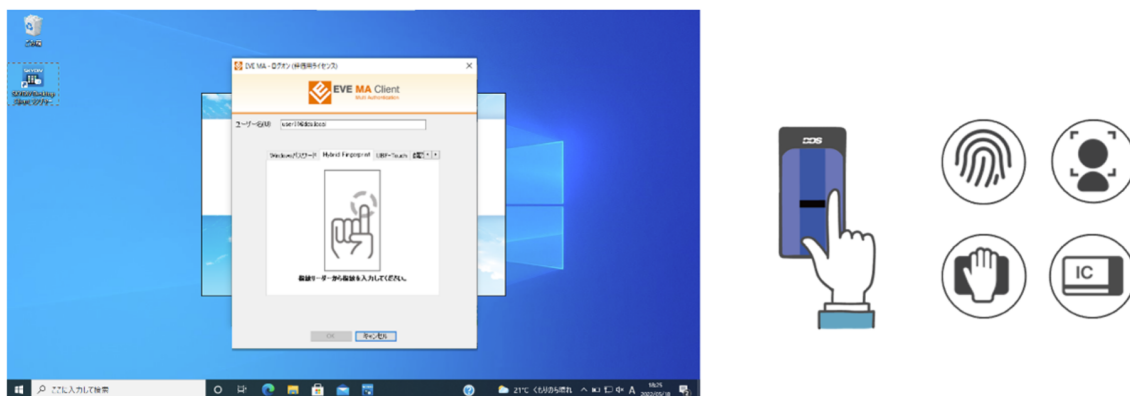


- f ログイン画面の情報を取得後、ログインに必要な情報を設定して [登録(R)] をクリックします。
- * 詳細な設定方法は別紙「多要素認証基盤 EVE MA | SKYDIV Desktop ClientのID マネージャー設定手順」を参照ください。

4. EVE MAとSKYDIV Desktop Clientの連携（利用）

(1) SKYDIV Desktop Clientランチャーへのログイン

EVE MAとの連携後は、ログイン画面およびランチャーにMAの認証画面が表示されます。これまでログイン名とパスワードで行っていた認証が多要素認証に変わり、確実な本人確認を行った上でアクセスできるようになります。

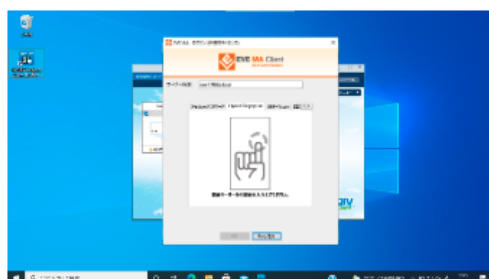


SKYDIV Desktop Client ログイン画面でのMA認証



MAによるログイン認証が行われ、表示されたランチャーで接続先ボタンをクリック(*)し、仮想デスクトップに接続します。

- * ランチャー画面での接続先ボタンのクリックで、EVE MA認証画面が表示されます（下図）。



この表示をさせないよう以下のレジストリ設定を行います。なお、本設定を行うと、Windowsセキュリティ画面におけるEVE MIによる認証が利用できなくなりますので、ご注意ください。

- レジストリの設定

場所：

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\DDS\EVEMA\Client\CredentialProvider

キー：EnableCredUI (REG_DWORD)

設定値：0

なお、EVE MAクライアントのインストール用設定ファイル (install.ini) へ、以下を記載いただくことで、インストール時に上記レジストリが書き込まれます。

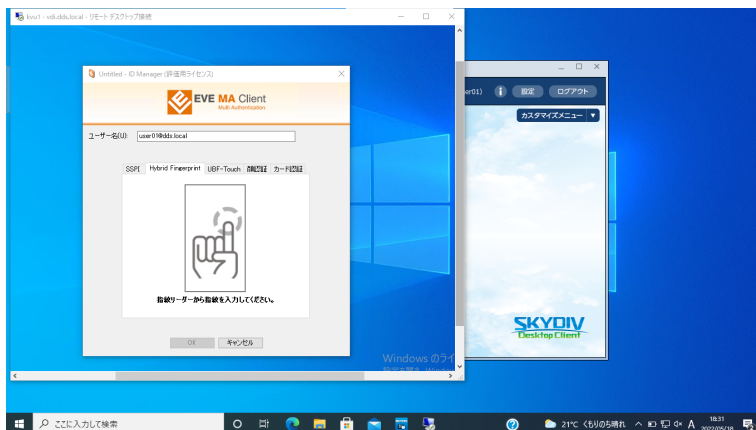
セクション：[Client\CredentialProvider]

キー：EnableCredUI

設定値：0

(2) 仮想端末エージェント内での利用

また、仮想端末エージェント内の業務アプリケーションに対して、前項4で示した方法でIDマネージャーの登録を行うことで、仮想端末エージェント内で利用する業務アプリケーションでもEVE MAの認証が利用可能となります。



以上